

第115期 株主通信

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

株主のみなさまへ



電子部品事業部 亀岡工場（京都府亀岡市）

GUNZE

グンゼ株式会社

証券コード 3002

株主のみなさまへ

試練の時こそ連携し、わたしたちは力を発揮します!

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
また、このたびの東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福を慎んでお祈り申し上げますとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは、「品質第一」と「技術立社」を基盤に、創業の精神である「人間尊重」「優良品の提供」「共存共栄」を企業理念として顧客起点の事業運営を行っております。

このような理念のもと、企業の社会的責任（CSR）に積極的に取り組み、お客さま満足と持続的な企業価値向上の実現に努めてまいります。

さて、2011年3月末をもって第115期を終了いたしましたので、連結決算概況ならびにセグメント別事業内容についてご報告するとともに、本年度よりスタートしました中期経営計画『Innovation 4S』（平成23年度～平成25年度）の概要をご報告申しあげ、ご理解を賜りたいと存じます。

当期(平成23年3月期)の経営成績

当期のわが国経済は、政府の景気刺激策や中国・新興国の経済成長による需要拡大などから、一部業種に回復の兆しが見られたものの、円高の進行や厳しい雇用情勢、長引くデフレや資源価格の高騰などの影響により本格的な景気回復には至らず、不透明な状況が続くなか、本年3月11日に発生しました東日本大震災とその後の福島原子力発電所の事故により、かつてない甚大な被害と経済的な打撃を蒙りました。

当社グループにおいては、アパレル事業は、生活防衛型消費傾向や節約志向が続くなか、売上減少に歯止めがかからず、また、

原料や諸資材の高騰、海外労務コストの上昇など、引き続き厳しい状況で推移しました。機能ソリューション事業は、設備投資の回復などから受注は改善したものの年度後半には原料高・製品安、円高の継続による受注回復ペースの鈍化が見られました。

このような状況のなかで、当社グループは

- (1) 新しい事業構造への変革
- (2) グローバル経営の積極推進
- (3) スリムで効率的な経営体質の実現

に重点的に取り組んでまいりました。その結果、当期の売上高は133,705百万円



» Contents

- p1-2 株主のみなさまへ
決算ハイライト
- p3-4 アパレル事業
- p5-6 機能ソリューション事業
- p7-8 ライフクリエイイト事業
- p9-10 グンゼ年間ニュース
- p11-12 連結財務諸表
- p13-14 中期計画『Innovation 4S』
- p15 株主さまアンケートのご報告
- p16 株式の状況
- p17 株主インフォメーション
- p18 会社の概況
- p19 株主メモ
株主さま優待のお知らせ

◎表紙写真について

1991年(平成3年)に、電子機能材料センター亀岡分工場を京都府亀岡市ベビー工場内に設置しました。1998年(平成10年)には、電子部品事業部へ昇格。写真建物内にて、タッチパネルの一貫生産を行っています。旺盛なタッチパネル需要に対応するため、コーティング工場の増設を行っています。

(前期比3.2%減)、営業利益は3,085百万円(前期比57.2%増)経常利益は3,285百万円(前期比29.6%増)、当期純利益は、東日本大震災

による特別損失223百万円を計上しましたが、1,796百万円(前期比113.6%増)となりました。

次期(平成24年3月期)の見通し

次期の見通しにつきましては、東日本大震災とその後の福島原子力発電所事故影響ならびに電力制限の実施等による経済活動への影響など、引き続き先行きの不透明感が払拭されないなかで、資源価格の高騰に加えて上期は一層の消費者心理の冷え込みが懸念されるなど、当社グループを取り巻く経営環境は、今後も予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような環境のなかで、当社グループは、事業ごとに重点戦略課題を明確化し持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

機能ソリューション事業は、プラスチックフィルム分野では新規の複合ナイロンフィルム2号機の早期経営貢献に加え、海外会社の経営基盤強化を推進します。エンジニアリングプラスチック分野では新機種採用商品の拡大とコストダウン、電子部品分野では透過型静電容量タッチパネルの生産能力増強及びグローバルネットワークの構築を進めてまいります。

アパレル事業では、新機能・新素材開発によるNB(自社ブランド)商品の強化とともに、PB商品対応も視野に入れ、新規チャネルの開拓や市場シェアの拡大を進めます。また、オンデマンド生産や海外生産体制の強化により、国内はカスタマイズを含むダイレクト販売の拡大、海外では中国合併事業を始めとした現地販売の拡大に取り組んでまいります。

ライフクリエイティブ事業では、ショッピングセンターへの魅力あるテナントの導入及び地域密着型販促等の強化により競合他店との差別化をさらに進めてまいります。またスポーツクラブ分野においては、サービス向上や魅力的なメニューの導入など、お客さま満足向上に向けた積極的な取り組みにより収益力の向上を図ってまいります。

以上により次期(平成23年4月1日から平成24年3月31日)の連結業績につきましては、売上高143,500百万円、営業利益3,500百万円、経常利益3,400百万円、当期純利益2,100百万円を予想しております。

今後とも株主のみなさまには、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

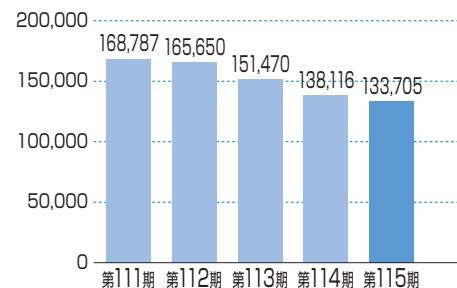
平成23年6月

代表取締役社長 **平田 弘**

》決算ハイライト

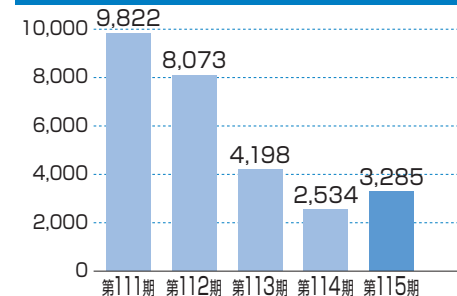
● 売上高

単位:百万円



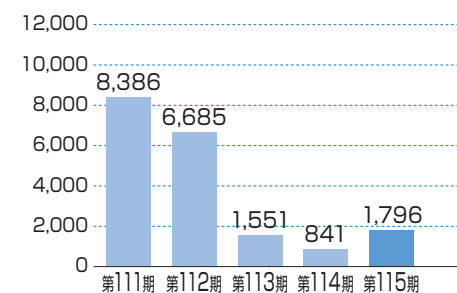
● 経常利益

単位:百万円



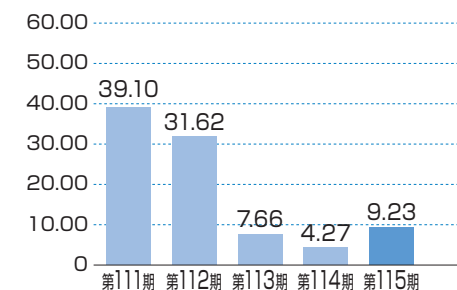
● 当期純利益

単位:百万円

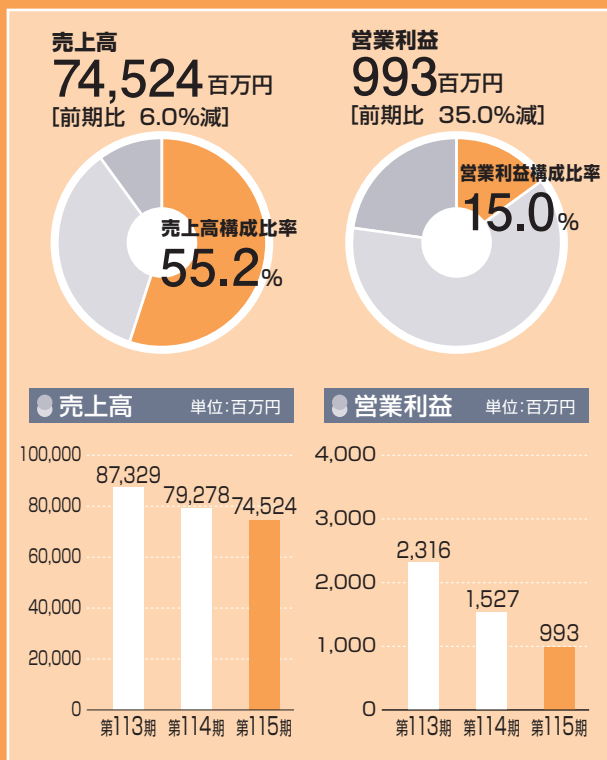


● 1株当たり当期純利益

単位:円



アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

インナーウェア分野では、大手流通との積極的な取り組みやシーズンインナー（冷感や発熱素材を使った『クールマジック』『ホットマジック』など）・『BODY WILD』の拡販に努めましたが、流通各社のPB（プライベートブランド）を含むシーズン機能商品が大幅に拡大したことなどから、『快適工房』を中心としたベーシックグループが低迷し、全般として苦戦しました。なお、『BODY WILD』につきましては直営店舗に加え、2010年下期よりWEB直販サイトの「BWfit」など新規チャンネルを開拓しました。レッグウェア分野では、パンティストッキング・ソックスのベーシック商品及びファッションタイツは低調な動きでしたが、レギンス・トレンカやフットカバー・レッグウォーマーなどのコーディネート商品はシーズンを通じて好調に推移しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は74,524百万円（前期比6.0%減）、営業利益は993百万円（前期比35.0%減）となりました。

事業内容



インナーウェア事業

インナーウェアの中心ブランドとしては、若者の感性に応えた『BODY WILD』、『Tuché』、綿100%の機能性肌着を提案する『THE GUNZE』などを展開しています。特に今夏は、節電対策として夏用インナーの『COOLMAGIC』が注目されています。

国内では従来肌着の常識を変えるカスタマイズパンツの提供や、中国をはじめとした海外では魅力ある商品と、楽しく選びやすい売場を提供しています。

Topics

北京愛慕郡是服飾有限公司設立に合意(12月20日)

中国の大手婦人インナーメーカーである「北京愛慕內衣有限公司」との合併会社設立に両社が合意し、北京で調印式が行われました。

「北京愛慕郡是服飾有限公司」は、『BODY WILD』『THE GUNZE』を主要取り扱い商品とし、グンゼの強みである「商品開発力、品質管理、生産技術」と、愛慕の強みである「中国での販売力」を合わせ、スピードある市場開拓と販売拡大を行います。



北京愛慕との調印式

カスタマイズパンツのネット販売を開始!(9月21日)

100万通りのカスタマイズパンツが作れるサイト「BWfit (BWフィット)」でのWEB販売を開始、自分で自由にシミュレーションができるパンツが好評です。

また新たにお客さまがお気に入りの画像をオリジナルプリントできる新サービス「BW-Design」(BWデザイン) がスタートしました。商品は、WEBでご注文いただいてから京都府宮津市の工場プリント、縫製し、お客さまにお届けする仕組みになっています。



新しいビジネスモデル
BW-Design

繊維資材事業

アパレルメーカーの生産性の向上に貢献できるミシン糸や、自動車のエアバッグやシートベルトに使用する特殊用途向けのミシン糸等を開発しています。



自動車用エアバッグ



エアバッグ用縫糸

レッグウェア事業

女性の“美しくなりたい”という気持ちに“機能”と“ファッション”の両面からアプローチしています。最新のレッグトレンドを発信する『Tuché』や、女性のニーズに応えた機能ストッキング『SABRINA』など、多彩なラインナップで女性の脚もとを演出します。



伝線しにくい
サブリナと、
ミニスカートに
合わせやすい
流行のレギンス

Topics

『Tuché』アクティヴスタイルが
売場で好評!

スポーティでカラフルなデザインと機能性を追求したスポーツソックス、レギンス、インナーが『Tuché』ブランドにてデビュー!

流行の追い風に乗って世代を問わず好評を得ています。



スポーツをテーマにした売場



愛らしい
花模様にも、
繊細なレース
づかいの
パジャマ
「ルアーージュ」

LOUÄRGE

ハウスカジュアルウェア事業

快適さと機能性を提供するナイトウェアや、お部屋でもおしゃれを楽しめるホームウェアなど、多彩なラインナップで、心と体のリラックスを追求しています。

Topics

様々なライフスタイルに応える
ウェア、『BODY WILD』!

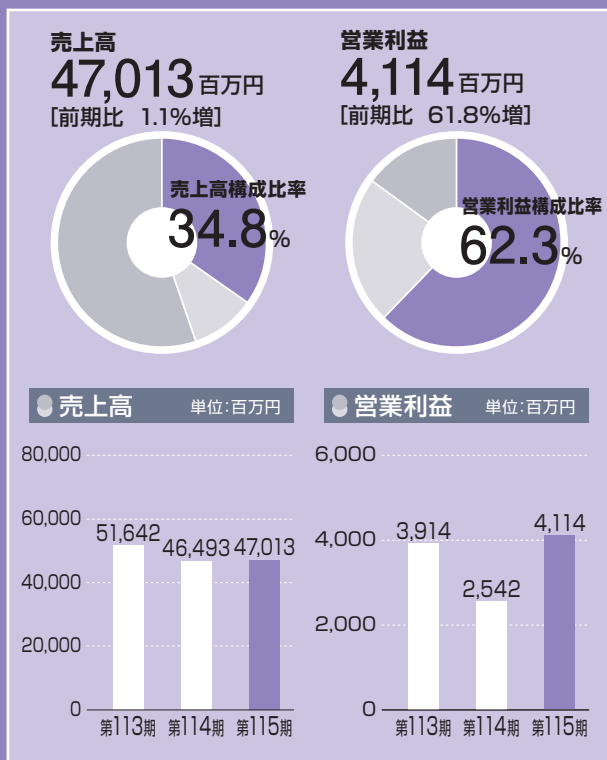
カジュアルラインは、リラックスムードで、スポーツラインは、よりアクティブに。

2つのラインでおしゃれにミックスコーディネートします。



近所へのちょっとした外出も可能です。

機能ソリューション事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

プラスチックフィルム分野では、平板収縮フィルムは猛暑による大幅な需要の増加や、ホット飲料を中心にハイブリッドタイプの拡販が進みました。OPPフィルムは「もやし」「菌茸類」などの野菜向けが好調に推移しましたが、東日本大震災で生産工場が被災し、操業停止を余儀なくされました。海外事業は中国を除き全体的に低調に推移し、加えて原料樹脂の高騰を受け苦戦しました。エンジニアリングプラスチック分野では、OA機器向け部材及び一般産業用資材ともに市況が回復に転じたことで好調に推移しました。電子部品分野では、大手パソコンメーカーからの旺盛な需要に対応するため、透過型静電容量タッチパネルの生産能力の増強に着手し、段階的な拡大を図っております。メディカル分野では、縫合糸、人工硬膜が苦戦しましたが、海外での骨接合材、縫合補強材の販売が好調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は47,013百万円（前期比1.1%増）、営業利益は4,114百万円（前期比61.8%増）となりました。

事業内容

シルファン®



二軸延伸ポリプロピレンフィルム

プラスチックフィルム事業

ペットボトルのラベルに使用するフィルムや、くもりにくい特長のある野菜の包装用フィルムなどを製造・販売しています。

環境に配慮し、時代のニーズに合った商品開発に取り組んでいます。

エンジニアリングプラスチック事業

複写機やプリンタ等のOA機器、機能部品、半導体超純水フィルター部材等に使用されるエンジニアリングプラスチック（高機能プラスチック）を成型・加工して販売しています。



フッ素樹脂薄膜チューブ

Topics

福島プラスチック

複合ナイロン新工場の竣工式を挙行政!(10月28日)

複合ナイロンフィルムを生産する新工場の竣工式を挙行政しました。複合ナイロンフィルム『HEPTAX』(ヘプタックス)は、フィルムの薄膜化、ラミネート工程の削減、耐ピンホール性に優れた安全性を実現しました。環境にやさしくコスト削減を実現でき、次世代の食品包装フィルムとして期待されています。



竣工式テープカットの様子

電子部品事業

タッチパネル商品群を開発・販売しています。高い信頼性が求められる産業用途から、最先端技術と生産対応力を求められるコンシューマー用途まで展開しています。



透過型静電容量
タッチパネルを使った
タブレット端末

Topics

コアロニックグループとの合併契約に合意 (12月7日)

タッチパネルの増産のため、合併会社設立の調印式を行いました。調印式には、コアロニック社から張会長、SarahLin社長、グンゼから平田社長、倅山常務が出席しました。コアロニック社のLED薄型バックライトと、グンゼの透過型静電容量タッチパネルの技術を併せ持つことで、中国での生産能力を増強、さらなるグローバルネットワークの強化を推進していきます。



合併契約の
調印式

開発事業

微細パターン印刷技術、ガラス代替高耐久フィルムや高耐熱光学フィルムなどの新しい光学フィルム及び健康食品“紅麴”の開発を進めています。



薄く、軽く、寸法安定性に優れた高耐熱光学フィルム

Topics

China Hi-Tech Fair2010 に出展!

(11月16日～21日)

中国・深圳で開催されたハイテクフェアに光学フィルム関連を出展しました。開会式に国家主席が来場するほど、躍進する中国の威信をかけた大規模なものでした。



当社による講演

メディカル事業

生体吸収性の素材を用いた医療器具を製造・販売しています。

Topics

人工皮膚「ペルナック」 欧州CEマーク取得

人工皮膚「ペルナック」は、2010年11月、欧州で認証（CEマーク）を取得し、代理店の販売エリアを拡大しました。



PELNAC

人工皮膚「ペルナック」

Topics

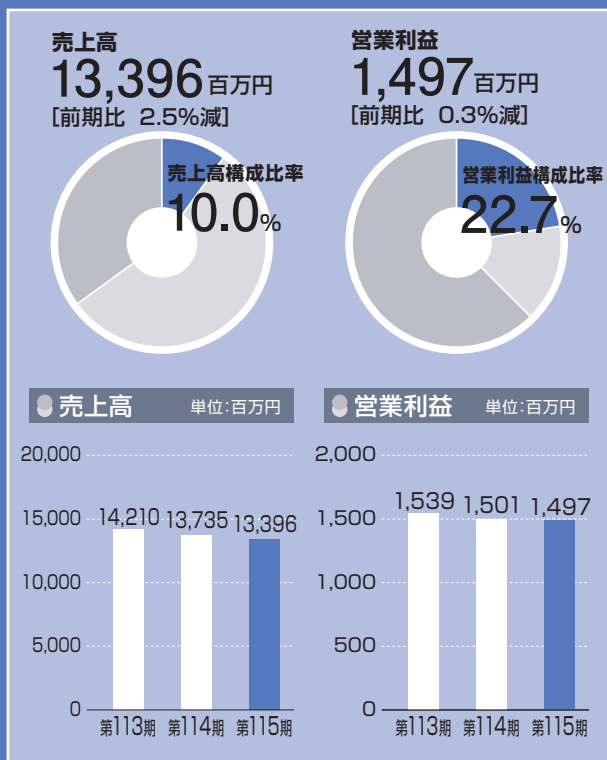
香港国際医療機器材及用品展 に出展! (11月3日～5日)

主力製品である吸収性骨接合材や、縫合補強材、人工皮膚などを出展しました。香港はもとより、アセアン諸国、欧州、北米、南米など多数の国からブース訪問があり、注目を浴びました。



展示会での商談の様子

ライフクリエイト事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

不動産関連分野では、「グンゼ タウンセンター つかしん」は新規テナント導入や地域密着型の販促に努めたものの、近隣でのショッピングセンターオープンなど競合が激化し苦戦しました。スポーツクラブ分野は、新規サービスの積極展開と効率的店舗運営により堅調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は13,396百万円（前期比2.5%減）、営業利益は1,497百万円（前期比0.3%減）となりました。

事業内容

スポーツクラブ事業

地元に着したスポーツクラブとして、質の高いサービスとメニューを提案し続けています。地域のみなさまに「健康・感動・安心」をお届けしています。



南草津レイクブルー外観



ボールエクササイズ

Topics

グンゼスポーツクラブが、奈良県に出店!

「橿原アルル店」がオープンしました!(2月1日)

奈良県橿原市のショッピングセンター イオンモール2階にグンゼスポーツクラブ「橿原アルル店」がオープン、全国で16店目の施設となりました。

「橿原アルル店」は、設備がコンパクトな分、会費が通常の施設より3割安く、主婦や高齢者などが気軽に立ち寄れる新しい形態のクラブを目指しています。



開店日の様子



広々としたスタジオが2面



花卉販売は暮らしに密着

緑化事業

良質の樹木や花などを販売するとともに、環境浄化木の販売などを行っています。

温浴事業

「つかしん」の日帰り温泉施設「湯の華廊」。源泉掛け流しの露天風呂や岩盤浴など16種類のお湯が楽しめます。



人気の露天風呂



自然と共存する広々とした敷地

商業デベロッパー事業

「グンゼ タウンセンターつかしん」（兵庫県尼崎市）は2006年のリニューアルオープン以降、毎年1,000万人を超えるお客さまにお越しいただき、累計来街者数が5,000万人を超えました。

.....

エンジニアリング事業

省エネ、省資材などの技術やノウハウを活用して、ESCO事業及びエコ商材（断熱材）の販売を行っています。



省エネ診断の様子

Topics

第20回福知山マラソン開催!

グンゼスポーツの小林玲子さんが優勝!!(11月23日)

グンゼが特別協賛している福知山マラソンの20回記念大会が開催されました。その大会でグンゼスポーツの小林玲子さんが2時間44分の好タイムで、2年ぶりの優勝を飾りました。グンゼ関係者からはランナー59名、ボランティア41名が参加し、大いに盛り上がりました。



フルマラソン女子の部でトップでテープを切る小林さん

Topics

倉吉グンゼ(株)の遊休地に商業施設がオープン!(4月7日)

倉吉グンゼ（鳥取県倉吉市）内の遊休地を利用したスーパーマーケット「ラ・ムー」、ドラッグストア「ウェルネス」の2店舗が同時オープンしました。地域のみなさまに愛される商業施設を目指しています。



駐車台数は173台で105万人の年間来場者を見込んでいます。

4月

1日 6日

開発事業と、メディカル事業が事業部へ昇格

『クールマジック』がスペースシャトル山崎飛行士用に採用され、宇宙に出発



スペースインナー
『クールマジック』

5月

12-14日 21日 27日 31日

メカトロ事業 DMEXP2010に出展

宮崎県口蹄疫被害に対する義援金の寄贈



口蹄疫被害への義援金寄贈

青島吉福包装有限公司 事業スタート



青島吉福包装有限公司 (中国・山東省)

グンゼスポーツ川西店 3D計測サービス導入



グンゼスポーツ川西店
3Dサービスの様子

メディカル事業 日本看護学会へ医療用ストッキングを出展

メディカル事業 国際熱傷学会へ人工皮膚『ペルナック』を出展



「かつみ・さゆり」の
せやねんコラボパンツ

6月

5-6日 21-25日 26日

7月

14-16日 22-25日

メカトロ事業 PROPAC CHINAに出展

健康食品「BIO台湾」に出展

9月

9-10日 11-15日 21日 29日

平田社長 ロンドンでIR活動



平田社長ロンドンにてIR活動

メディカル事業 欧州心臓・呼吸器外科学会に出展

カスタマイズパンツのネット販売開始 (関連情報はP14へ)

チリ鉱山落盤事故へスペースインナー『クールマジック』を提供

GUNZE ONE YEAR NEWS <DIGEST>

10月	11月	12月	1月	2月	3月
13-15日 28日	3-5日 16-21日 22日 23日 26-28日	7日 9-11日	6日 27日	1日 16-18日	5日 11日

東日本大震災発生



甚大な被害に見舞われた地域の皆さまに対し、衣料品の支援(肌着・ソックス・パジャマ)をいたしました。

大丸梅田店「オー・ランジェリーゼ」にグンゼショップがオープン

開発事業 ナノテクノロジー展に出展

グンゼスポーツ「榎原アルル店」がオープン



プラスチック、高機能繊維等の素材製造技術、及び表面処理技術をコアに、基材からデバイス、製品までのトータルソリューションをご紹介します。



大丸梅田店(JR大阪駅前)にてTuche GUNZE COLLECTION、BW underwave、レディスの新提案であるセレクトショップがオープンしました。

日本テレビ「秘密のケンミンSHOW」で宮津工場を紹介

テレビ朝日「報道ステーション」でタッチパネルを紹介

エコプロダクツ展に出展



「秘密のケンミン SHOW」連続転動ドラマ「辞令は突然に」に「主人公の東京一郎」が訪れる取引先として宮津工場が登場し、「BODY WILD」や「BWfit」カスタマイズパンツが紹介されました。

電子部品事業 台湾のコアエレクトロニクスグループとの合併会社設立に合意

メディカル事業 アジア口腔顎顔面学会に出展

第20回福知山マラソン開催

読売テレビ「テン」でホットマジックを紹介



マレーシアで開催された学会に、吸収性骨接合材、縫合補強材を出展しました。

開発事業 チャイナハイテクフェア2010出展

メディカル事業 香港国際医療機器及用品展

福島プラスチック 新工場竣工式挙

開発事業 食品開発展に紅麴、大豆ベニエツト出展



食品開発展でベニエツト出展

≫≫ 連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	67,722	66,864
固定資産	96,194	101,904
有形固定資産	67,468	70,550
無形固定資産	2,190	1,352
投資その他の資産	26,536	30,001
資産合計	163,917	168,768
負債の部		
流動負債	35,257	33,849
固定負債	15,313	17,363
負債合計	50,571	51,212
純資産の部		
株主資本	112,900	113,794
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,082	14,085
利益剰余金	80,033	79,727
自己株式	△7,286	△6,089
その他の包括利益累計額	△452	2,953
新株予約権	200	149
少数株主持分	697	658
純資産合計	113,345	117,556
負債及び純資産合計	163,917	168,768

≫≫ 連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	133,705	138,116
売上原価	97,295	101,102
売上総利益	36,409	37,014
販売費及び一般管理費	33,324	35,051
営業利益	3,085	1,963
営業外収益	1,346	1,360
営業外費用	1,146	789
経常利益	3,285	2,534
特別利益	2,842	3,410
特別損失	3,110	3,652
税金等調整前当期純利益	3,016	2,292
法人税等合計	1,213	1,369
少数株主損益調整前当期純利益	1,803	—
少数株主利益	6	81
当期純利益	1,796	841

≫≫ 連結包括利益計算書<参考>

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	1,803	—
その他の包括利益	△3,459	—
包括利益	△1,656	—

—|| 資産合計

前期比48億円減少

有価証券40億円減少などにより、48億円減少となりました。

—|| 負債合計

前期比6億円減少

長期預り敷金保証金41億円減少、支払手形及び買掛金5億円減少、退職給付引当金4億円減少及び借入金（コマーシャル・ペーパーを含む）48億円増加などにより、全体で6億円の減少となりました。

—|| 純資産合計

前期比42億円減少

株主還元で26億円減少（配当14億円、自己株式取得12億円）、その他有価証券評価差額金21億円減少、為替換算調整勘定10億円減少及び当期純利益17億円による増加などにより、全体で42億円の減少となりました。

売上高

前期比3.2%減少

アパレル事業で47億円減収、機能ソリューション事業で5億円増収、ライフクリエイト事業で3億円減収となり、全体で44億円の減収となりました。

営業利益

前期比57.2%増加

アパレル事業で5億円減益、機能ソリューション事業で15億円増益となり、全体で11億円の増益となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期比113億円減少

税金等調整前当期純利益30億円、減価償却費78億円、預り敷金及び保証金の減少27億円、退職給付引当金の減少12億円などにより、当期の営業活動によるキャッシュ・フローは50億円となり、前期比113億円の減少となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	5,050	16,369
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,958	△7,568
財務活動による キャッシュ・フロー	2,506	△11,237
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△189	22
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,409	△2,414
現金及び現金同等物の 期首残高	5,496	7,859
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増加額	0	51
現金及び現金同等物の 期末残高	6,905	5,496

注)△印は支出超過を表す。

連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円、単位未満切捨て)

項目	株 主 資 本					その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成22年3月31日残高	26,071	14,085	79,727	△6,089	113,794	2,953	149	658	117,556
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△1,479		△1,479				△1,479
当期純利益			1,796		1,796				1,796
連結範囲の変動			△8		△8				△8
土地再評価差額金取崩額			0		0				0
自己株式の取得				△1,217	△1,217				△1,217
自己株式の処分		△2		20	17				17
その他			△3		△3				△3
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△3,406	50	38	△3,316
連結会計年度中の変動額合計	—	△2	305	△1,197	△894	△3,406	50	38	△4,210
平成23年3月31日残高	26,071	14,082	80,033	△7,286	112,900	△452	200	697	113,345

Innovation 4S 中期経営計画

当社グループは、本年度より中期経営計画『Innovation 4S』（平成23年度～平成25年度）をスタートしました。『Innovation 4S』計画では、「Solution(解決)」「Strategy(戦略)」「Speed(速度)」という3つのSを、全ての事業で追求し、顧客、従業員、株主さまなど、すべてのステークホルダーの満足「Satisfaction」を最大化することを目指します。私たちは、この中期経営計画で激変する市場環境へ適応するため、成長確保と体質強化を柱とした事業構造・ビジネスモデル変革に取り組み、さらなる企業価値向上を目指します。

中期経営計画の概要

計画名称 『Innovation 4S』計画（略称：4S計画）

推進期間 2011年度(116期)～2013年度(118期)の3ヵ年

コンセプト 4つのS (Solution, Strategy, Speed, Satisfaction)をキーワードに、事業構造改革により激変する市場環境への適応力を強化して、成長確保と体質強化を実現し、企業価値の飛躍的な向上を図る。

キャッチフレーズ

“3つのSが大きなSに!”

Solution(解決)×Strategy(戦略)×Speed(速度)=Satisfaction(満足)

1. 経営目標(連結)

項目	単位	2013年度計画	2010年度実績	対10年度増加額	対10年度増加率
売上高	億円	1,660	1,337	323	24%
営業利益	億円	95	31	64	206%
経常利益	億円	95	33	62	188%
当期純利益	億円	48	18	30	167%

2. 基本戦略

成長確保

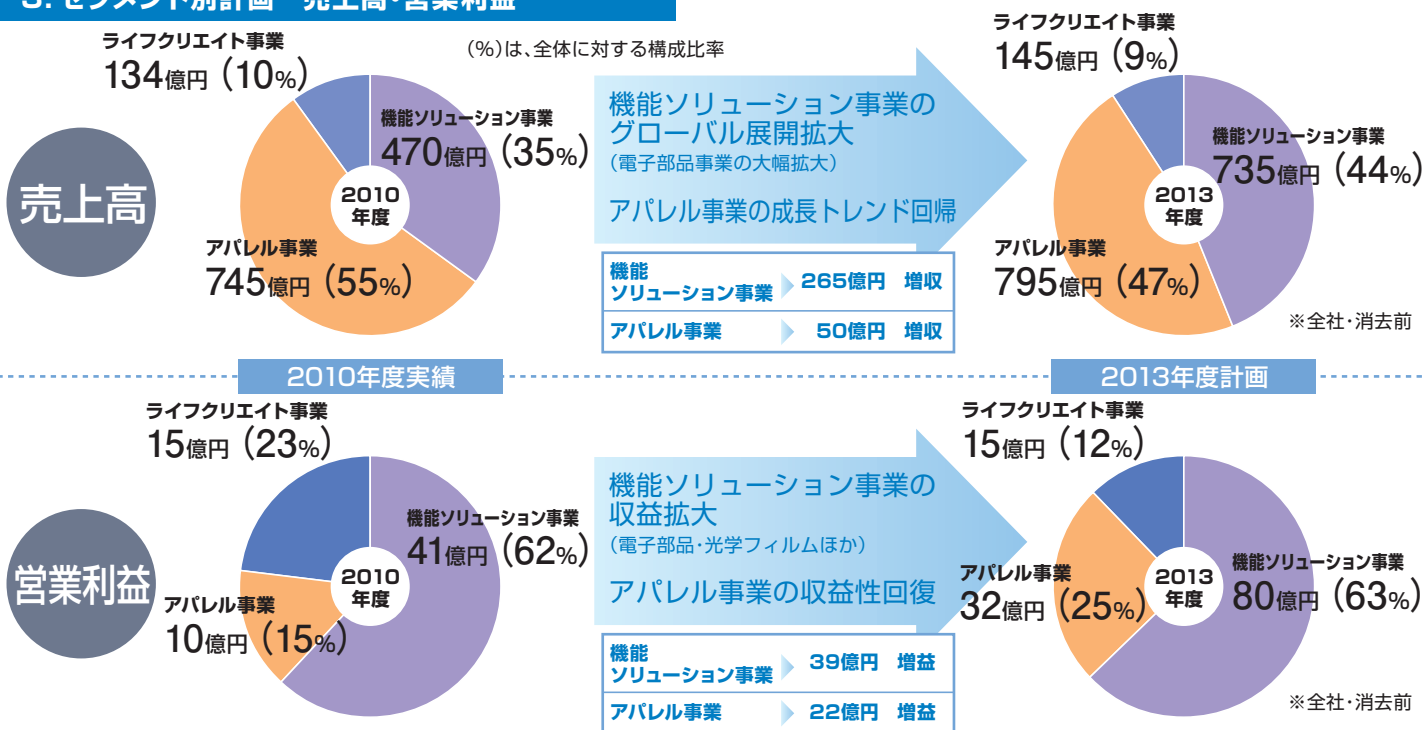
- 1 成長事業への積極投資
- 2 成長・新規分野の開発・拡販
- 3 グローバル販売の拡大

体質強化

- 1 低収益事業の構造改革と収益力強化
- 2 資産の効率的運用
- 3 グローバルCMSの確立

CMS…Cash Management System
(キャッシュマネジメントシステム)

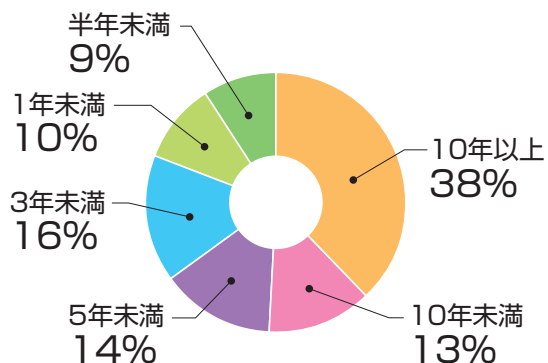
3. セグメント別計画 売上高・営業利益



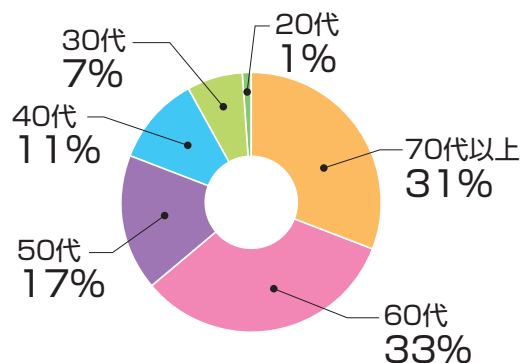
株主さまアンケートのご報告

昨年(2010年)に実施いたしましたアンケートに、多くの株主のみなさまからご回答をいただき、誠にありがとうございました。回答内容を一部ご報告いたします。

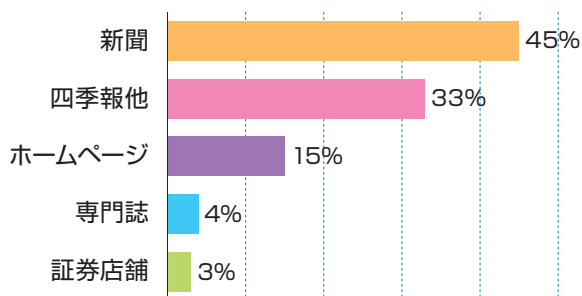
株式の保有期間



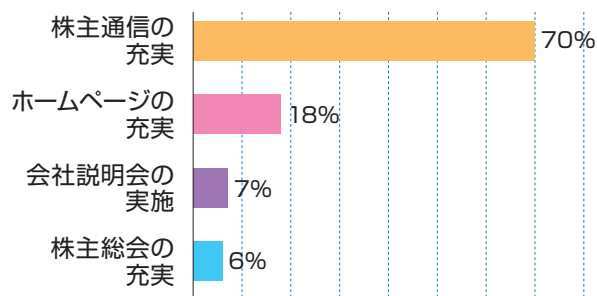
株主さまのご年齢



当社に関する情報源



株主さまのご要望



株主さまのご意見・ご要望により、2011年3月末の株主優待カタログの商品割引率を20%から**30%**に拡大いたしました。また、今後とも株主通信をより充実させ、かつ読みやすく改善いたします。

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行済株式総数 209,935,165株

◎自己株式(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

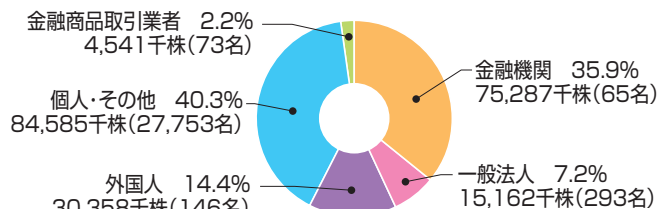
取得 4,167千株 (1,217百万円)

処分 44千株 (20百万円)

期末 16,853千株 (7,286百万円)

◎単元株式数：1,000株

株主数 28,330名



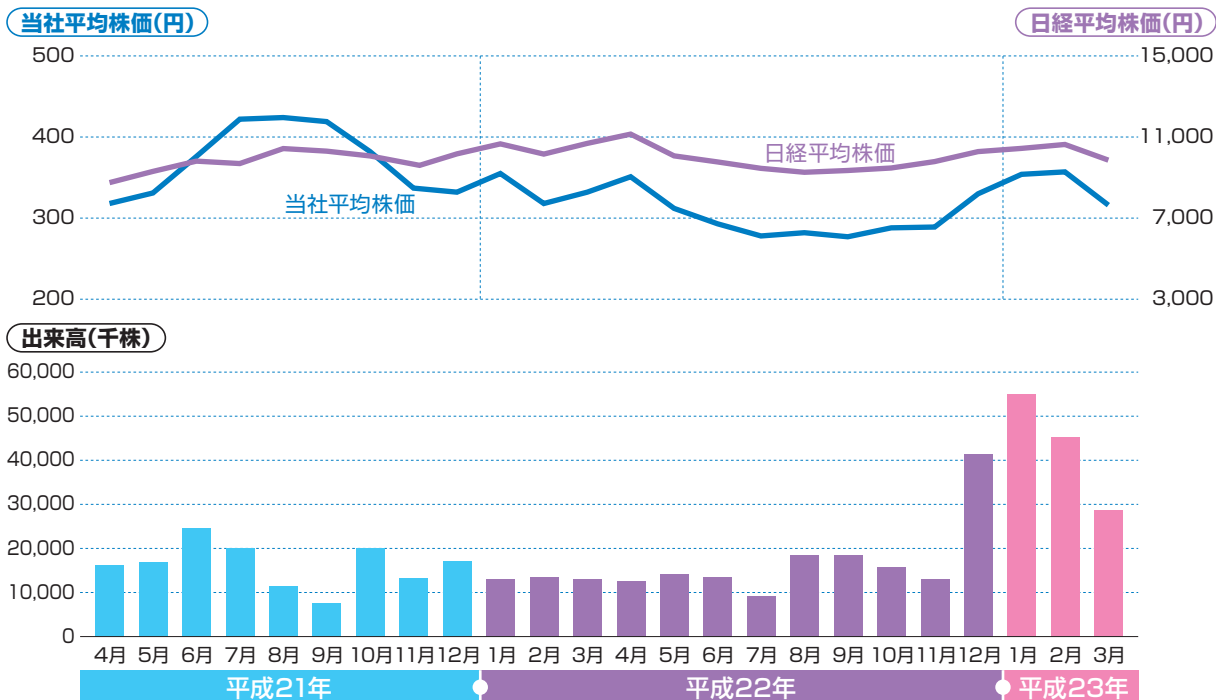
(注) 円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

大株主一覧(上位10社)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	30,961	16.03
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,131	3.17
株式会社京都銀行	5,875	3.04
第一生命保険株式会社	5,528	2.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,114	2.64
日本興亜損害保険株式会社	4,380	2.26
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,337	1.72
株式会社GSIクレオス	2,655	1.37
株式会社みずほコーポレート銀行	2,205	1.14
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,135	1.10

(注) 当社は、自己株式16,853千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高グラフ



株主インフォメーション

配当金の口座受け取り制度をご案内します

平成21年1月にスタートした株券電子化により、配当金の受け取り方法が増えました。以前から口座受け取りをご指定の株主さまも選択肢が増え、多様なニーズにお応えできるようになっております。

口座受け取りをお手続きいただきますと、配当金支払開始日に株主さまご指定の銀行等の口座にてお受け取りが可能になりますので、迅速・安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。

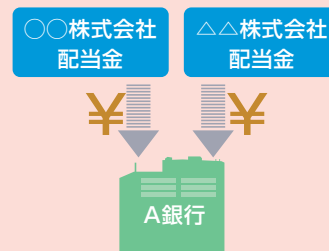
この機会にご検討くださいますようお願いいたします。

1 全ての銘柄の配当金を1つの口座で受け取りたい 登録配当金受領口座方式

ご所有の全ての銘柄の配当金を1つの銀行(*)口座でお受け取りいただけますので、配当金をまとめて管理したい株主さまに便利です。

お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで全ての銘柄の配当金を同一銀行口座でお受け取りいただけます。

(※ ゆうちょ銀行は、指定できません。)



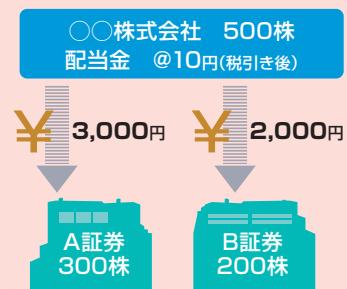
2 配当金を証券会社の口座で受け取りたい 株式数比例配分方式

配当金を証券会社の口座で管理したい株主さまに便利です。複数の証券会社で株式をご所有の場合でも、証券会社ごとのご所有株式数に応じて、配当金をそれぞれの証券会社の口座で按分してお受け取りいただけます。

お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、株主さまのご所有の全銘柄についてお手続きできます。

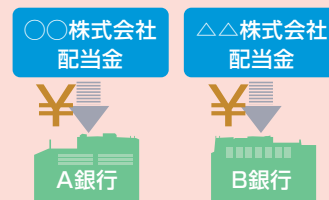
※ご所有の株式の一部が特別口座で管理されている場合などは、選択できません。

※ご所有の株式の一部が、株式数比例配分方式の配当金受取方法を採用していない証券会社にご預託の場合は選択できません。詳しくはお取引の証券会社にお問い合わせください。



3 株式の銘柄ごとにそれぞれ別の口座で受け取りたい 個別銘柄指定方式

株式をご所有の銘柄ごとに、銀行口座を指定して、配当金をお受け取りいただけます。



お手続き・お問合せ先

配当金のお振込みに関するご相談は、お取引の証券会社等にお申し出ください。

会社の概況

(平成23年3月31日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	明治29年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	2,114名(単体) 8,989名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田1丁目8番17号 (大阪第一生命ビル) TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都中央区日本橋2丁目10番4号 TEL(03)3276-8710

主な連結子会社

東北グンゼ株式会社	Gunze Plastics&Engineering Corporation of Europe N.V. (ベルギー)
九州グンゼ株式会社	Gunze Plastics&Engineering Corporation of America (米国)
福島プラスチック株式会社	上海郡是通虹纖維有限公司 (中国)
グンゼ包装システム株式会社	GGI Technology Ltd. (香港)
グンゼ高分子株式会社	Guan Zhi Holdings Ltd. (香港)
グンゼ開発株式会社	上海郡是新塑材有限公司 (中国)
株式会社つかしんタウンクリエイト	Gunze Electronics U.S.A.Corp. (米国)
グンゼスポーツ株式会社	山東冠世針織有限公司 (中国)

(注)チーフオフィサー制度を採用し、チーフオフィサーで構成する経営執行会議にて、経営重要事項の審議を行い、意思決定の迅速化を図っております。

CEO	Chief Executive Officer(最高経営責任者)
COO	Chief Operating Officer(最高執行責任者)
CFO	Chief Financial Officer(財務担当)
CHO	Chief Human-Resources Officer(人事担当)
CRO	Chief Research & Development Officer(研究開発担当)
CCSRO	Chief Corporate Social Responsibility Officer(CSR担当)

取締役、監査役

代表取締役社長兼社長執行役員(CEO兼COO)	平田 弘
代表取締役常務取締役兼常務執行役員 コーポレートコミュニケーション部長(CFO兼CHO)	児玉 和
常務取締役兼常務執行役員 エンブラ事業部長(CRO)	丹原 英夫
常務取締役兼常務執行役員 アパレルカンパニー長(CCSRO)	金井 博芳
取締役(社外)	天野 勝介
取締役(社外)	白井 文
取締役兼執行役員 研究開発部長	鈴木 昌和
取締役兼執行役員 プラスチックカンパニー長(CCO)	服部 和徳
取締役兼執行役員 経営戦略部長(CMAO)	浜村 眞
取締役兼執行役員 アパレルカンパニーインナーウエア事業本部長(CLO)	小澤 七洋
監査役(常勤)	下井 幸夫
監査役(社外)	亀徳 忠正
監査役(社外)	杉山 清次
監査役	藤田 博

取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

執行役員

常務執行役員 電子部品事業部長	悴山 滋
執行役員 開発事業部長	四方 仁史
執行役員 メディカル事業部長	鶴家 邦良
執行役員 グンゼ開発株式会社代表取締役社長	赤木 庸二
執行役員 アパレルカンパニーインナーウエア事業本部長	山田 篤史
執行役員 人事・総務部長(CHO代理)	赤瀬 康宏
執行役員 アパレルカンパニーレッグウエア事業本部長	廣地 厚
執行役員 技術開発部長(CTO兼CIO)	友松 孝夫

CCO	Chief Compliance Officer(コンプライアンス担当)
CMAO	Chief Management & Accounting Officer(経営・管理担当)
CLO	Chief Logistics Officer(物流担当)
CTO	Chief Technical Officer(技術担当)
CIO	Chief Information Officer(情報担当)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会 3月31日(毎年6月下旬開催)
期末配当金 3月31日
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場取引所 東京(第1部)、大阪(第1部)
証券コード 3002
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL:0120-094-777(通話料無料)

<ご注意>

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主さま優待のお知らせ

毎年9月末(中間時)、3月末(期末時)の株主名簿において単元株(1,000株)以上の株式をご所有の株主さまに、下記の優待をご用意しております。

優待内容

優待1

《中間時・期末時》

当社通販カタログの割引率を本年度より20%から**30%**に拡大しました。

優待2

《中間時のみ》

当社商品(コース選択式)を下記内容にて贈呈

1,000株以上
3,000円相当の
当社商品

3,000株以上
6,000円相当の
当社商品



みなさまよりご愛顧いただいております通販カタログは、上質にこだわったインナーウェアやホームウェアを選びすぐったものや、従来からの商品を中心とするカタログなどがございます。

『セレストイル』は季節に合わせて1年に4回発刊いたします。

株主さま優待についてのお問い合わせは下記フリーダイヤルにお願いします。

0120-788-789

受付時間10:00~17:00/土・日・祝日は除く